

サバティカル期間における研究経過・成果報告書

平成28年 4月12日	
国立大学法人茨城大学長 殿	
所属・職名 人文学部・教授	
氏 名 杉本 妙子	
下記のとおり、サバティカル期間が満了しましたので、研究経過・成果等を提出いたします。	
サバティカル制度を利用した期間	平成27年10月 1日 ～ 平成28年 3月31日

<p>①研究経過について (利用期間を月単位などに区分して、具体的な研究経過を記入して下さい。)</p>	<p>平成27年度文化庁委託事業を中心に研究に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10～3月…被災地方言による文字化談話資料ならびに談話集の作成 ・ 10～3月…茨城方言による昔話の検討、収録、昔話集作成 ・ 10～2月…方言集作成のための調査準備 ・ 10～3月…東日本大震災による茨城県内への避難者に対する方言意識調査と結果のとりまとめ ・ 11～3月…茨城方言教材(改訂版)の作成 <p>上記の他、茨城方言に関する公開講座等の実施(文化庁委託事業の一環として)、論文執筆等を行った。</p>
<p>②研究成果について (目標の達成状況及び研究成果の公表予定について記入して下さい。)</p>	<p>平成27年度文化庁委託事業「被災地における方言の活性化支援事業」に採択され、これを中心に研究に取り組み、平成27年度内には下記の成果を上げることができた。なお、サバティカル制度利用申請時の計画は、文化庁委託事業の趣旨に沿って具体的な実施計画を修正して取り組んだ。</p> <p>(1)『平成27(2015)年度文化庁委託事業報告書 被災地方言と方言で語る生活文化の再発見と継承:茨城と福島浜通りの方言に学ぶ取り組み』(音声CD別添), P.172(資料編28ページを含む), 平成28年3月 *方言談話資料・避難者対象の方言問題に関わる意識調査結果(暫定版)等を含む</p> <p>(2)『茨城の方言で語る おあきさんの昔ばなし』(CD付き); P.89, 平成28年3月 *七絃の会(茨城町)と連携して作成</p> <p>(3)『茨城の方言談話資料Ⅱ 一神栖編1一』, P.47, 平成28年3月</p> <p>(4)『しみじみ楽しく茨城のことば[改訂版]』(CD付き), P.64, 平成28年3月</p> <p>上記のほか、稲敷市生涯学習講座での茨城方言に関する講義をもとに、次の論文をまとめ、公表した</p> <p>(5)「暮らしを映す鏡・方言 ～茨城方言から茨城を見る～」, 『平和言語学研究』第2号(平和言語学研究所), pp.22-33, 平成28年3月 *編集委員:津田幸男、他4名</p> <p>平成28年度以降の研究成果の公表として、上記(1)に収めた方言問題に関わる意識調査結果について分析を加えて論文とし、学会誌への投稿あるいは学部紀要への執筆を予定している。</p>